

横浜楽友協会吹奏楽団

第30回記念定期演奏会

客演指揮 小田野 宏之 オルガン 新山 恵理

C・サン＝サーンス 交響曲第3番 ハ短調作品78

「オルガン付き」

J・シユトラウス二世 喜歌劇

「こころもり」序曲

G・ガーシュウィン

パリのアメリカ人

2008年9月21日(日)

横浜みなとみらいホール
大ホール

1:20p.m. 開場 2:00p.m. 開演
全席指定1000円 (1:00p.m. 当日券発売)

- チケット販売…みなとみらいホールチケット予約センター(045-682-2000)
チケットぴあ(Pコード 294-787):電話(0570-02-9999)、インターネット (<http://t.pia.jp/>)、
全国のチケットぴあ店舗、ファミリーマート、サンクス、サークルK
 - みなとみらいホール…みなとみらい線みなとみらい駅より徒歩3分、JR・市営地下鉄桜木町駅より徒歩12分
TEL: 045-682-2020 / E-mail: mmh@yaf.or.jp
 - お問い合わせ先…横浜楽友協会事務局 TEL:080-1286-3922 / E-mail: ypskouhou@hotmail.com
<http://yps.at.webry.info/> (横浜楽友協会ウェブサイト)
- *未就学のお子様の客席へのご入場はお控えいただきますようお願いいたします

小田野宏之 *Hiroyuki Odano*



横浜生まれ。1980年東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。1983年同大学大学院音楽研究科修了。指揮法を金子登、渡邊暁雄、ピアノを水谷達夫、フルートを川崎優の各氏に師事。1983年より国際ロータリー財団奨学生として2年間ウィーン国立音楽大学へ留学。オトマール・スイツナー氏のもとで研鑽を積む。

1982年第17回民音コンクール指揮の部第3位入賞、同時に「斎藤秀雄賞」受賞。1984年オランダで行われた第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに於いて第2位入賞。アムステルダム コンセルトヘボウ大ホールに於いてオランダ放送フィルハーモニー管弦楽団を指揮してヨーロッパにデビュー。

留学中よりオランダ放送交響楽団、同室内管弦楽団と度々演奏会、放送録音を行う。1986年には北オランダのフリスク管弦楽団定期演奏会に日本人として初めて登場、最近では南西ドイツフィルハーモニー管弦楽団への客演も回を重ね、昨年2月にはピアニスト急遽変更のアクシデントの中、イタリアとスイスでの演奏会を大成功に導いた。国内では全国各地の主要オーケストラを指揮するほか、オペラ、バレエ公演の指揮、またNHKテレビ、FM放送に出演するなどその活躍は多方面にわたり、その誠実な指揮ぶり豊かな音楽性はそれぞれの分野で高く評価されている。

大阪センチュリー交響楽団指揮者、広島交響楽団正指揮者を歴任。大阪音楽大学特任教授及び東京芸術大学非常勤講師として、後進の指導にもあたっている。

新山恵理 *Eri Niiyama*

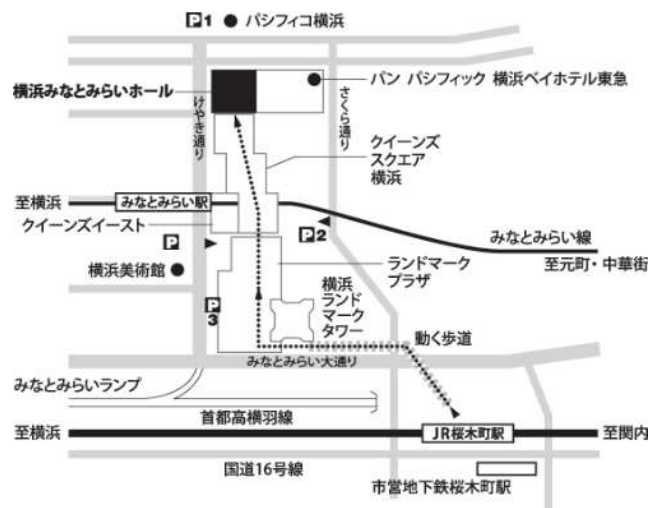


東京芸術大学音楽学部オルガン科首席卒業、日本オルガニスト協会主催新人演奏会に出演。同大学院修了。オルガンを絹村光代、秋元道雄、廣野嗣雄の各氏に師事。フランスのリール国立音楽院ではジャン・ボワイエ氏に師事し、満場一致の一等賞を得て同音楽院を首席で卒業。その後ベルギー、ルクセンブルグ、スペイン、南仏等の各国際アカデミーにおいて研鑽を積んだ。各地の歴史的な楽器でのコンサートに出演して好評を博し、18世紀に建造された楽器の修復記念演奏会にも招待されている。

国内では各地のホールでソロ演奏会に出演のほか、各オーケストラのオルガンパートを担当するなど、各合唱団、アンサンブルとの共演も続けている。NHK-FM「朝のバロック」、NHK「名曲アルバム」に出演。第3回日本オルガンコンクール第2位入賞。現在、東京芸術劇場副オルガニスト、日本オルガニスト協会会員。

横浜みなとみらいホール アクセス方法

- みなとみらい駅(東急東横線直通/みなとみらい線)下車、「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分
- 桜木町駅(JR/市営地下鉄)下車、ランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥(徒歩12分)
- 横浜市営バス 観光スポット周遊バス「赤い靴」いずれも「クイーンズスクエア」停留所下車すぐ
- お車 首都高速横羽線「みなとみらいランプ」よりみなとみらい公共駐車場(パシフィコ横浜地下)



横浜楽友協会吹奏楽団は、吹奏楽という枠にとらわれず古今の名曲を演奏したいという、学生から社会人までの幅広い年齢層のメンバーにより構成されています。

創立は1975年。翌年の第1回定期演奏会で演奏したチャイコフスキーの交響曲第5番を初めとして、同4番、6番『悲愴』、ベルリオーズの幻想交響曲、シベリウスの2番、ブラームスの1番、2番、リムスキーコルサコフのシェヘラザードなどの交響曲全曲演奏を積み重ねてきました。またバロックから現代までの管弦楽曲や、オルガン曲、歌曲、クラシックポップスと幅広いジャンルにも取り組んでいます。とりわけ交響曲などの管弦楽用に作られた曲を当団の編成に合わせて独自アレンジし、奏法を工夫することにより生まれる「吹奏楽の新しい音色」の可能性を探求しています。

創立当初より故池松和彦氏(東京フィルハーモニー交響楽団首席クラリネット奏者)を指導者として迎え、池松氏急逝後は、吹奏楽の世界的作曲家である故A. リード氏、伊藤透氏に客演を頂いています。1993年以降、小田野宏之氏の客演による定期演奏会は今回で14回を数えます。